

一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク 2022年度 事業報告書

I 実践促進事業 ～事業者の環境行動の水準を高める～

【中期目標:キャンペーン参加団体数、年間 200 団体を目指す】

- CO₂ ネットゼロ社会に向けたグリーン購入の側面からの取組を推進するため、エコ通勤の取組、職場内電灯のLED への変更や、「うちエコ診断」の勧めなど、具体的行動を選択項目に含めたキャンペーンを展開した。
- 自治体間での連絡会議開催や、グリーン購入に関するアンケート調査を通じ、情報や課題を共有することで自治体とSGNの連携を図った。
- グリーン購入に取り組む中小企業者の登録制度「GPプラン滋賀」では、県が進める「CO₂ ネットゼロ」に即した内容の講座を開催し、事業者への周知に努めた。また、環境面に福祉面を加えた事業者のCSR行動を支援することに努めた。
- 公募型プロポーザル事業「資源化情報システム運用管理業務」を単年度契約で受託し、滋賀県HP内サイト「ごみゼロしが」への情報提供業務を行った。
- キャンペーン参加団体数については、3年間とも年間目標の200団体に届かなかったことを反省材料として、次期目標設定では、簡便に報告できる仕組み、そして、自ら参加したくなるような取組と目標設定を考えていきたい。

1. グリーン購入+エシカル キャンペーン（事業者対象）

2022年10月1日～12月31日

参加団体：126団体（※別紙1：参加団体一覧 参照）

【取り組み項目別参加団体】

・グリーン購入+エシカルの取組	120 団体
・エコ通勤・エコトリップの取組（自動車を使わない通勤、買い物、旅行等）	47 団体
・食品ロス削減の取組（フードバンクへの寄付、買い物メモ持参の実施等）	74 団体
・CO ₂ ネットゼロの取組（環境省「うちエコ診断」の実施、事業所内の設備変更等）	76 団体

2. 自治体のグリーン購入担当者連絡会議

開催日：2022年7月14日（木） オンライン開催（Zoom 利用）

出席者：21名（講師田中氏もオンラインにて出席）

内 容：

講演「グリーン購入について」

環境省 大臣官房 環境経済課 課長補佐 田中 裕涼氏

連絡会議

- ・令和4年度自治体グリーン購入啓発リレーについて
- ・自治体のグリーン購入に関するアンケートについて
- ・指定管理先等のグリーン購入の実態の把握について（意見交換）



7/14 環境省 田中裕涼氏に
オンラインでご講演いただいた
自治体担当者連絡会議

3. 自治体のグリーン購入取組アンケート調査 2022年12月実施

4. GPプラン滋賀登録制度推進事業【県受託】 ※後掲

5. 令和4年度資源化情報システム運営管理業務【県受託】 ※後掲

Ⅱ 連携推進事業 ～会員の想いと活動をつなげる～

【中期目標:研究会事業への参加者を3年間で延べ500人以上とする。】

○研究会連携により開催したグリーン経済フォーラムでは「食」をテーマに取り上げ、「食」のサプライチェーンに関わる生産者・販売者・消費者とともに、グリーン購入やCO₂排出削減について今出来る事を考えた。

○会員が主体的に取り組む研究会活動が、今年度も活発に行われた。

■エコ交通研究会

①研究会メルマガ「エコ通勤・エコトリップのススメ」を毎月発行

②日野町カーフリーデーに参加、その後、カーフリーデー実証実験から学ぶ学習会を開催

■生物多様性と環境・CSR研究会

①生物多様性とOECMをテーマにしたオンラインセミナーの開催

■MORI と暮らしの研究会

①会員対象にアンケート調査（オフィスの木質化・ペレットストーブ・森林活用の福利厚生）を実施

②森の福利厚生モニターツアーを実施

○中期目標は昨年度にて達成したため、今年度は参加者人数にとらわれることなく、今必要と考える課題に向かっての取組を検討し、活動を行うことが出来た。

1. グリーン経済フォーラム 2022

「食」から『グリーン購入』を考える

フードサプライチェーンで考えるサステナビリティと経済循環

開催日：2022年11月15日（火）

会場：フェリエ南草津5階 市民交流プラザ 大会議室 <オンライン併催>

参加者：50名

後援：滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

内容：

基調講演 「フードサプライチェーンをめぐる環境負荷評価」

立命館大学 食マネジメント学部 学部長 天野耕二教授

事例報告1 「びわ湖の中から湖魚のフードサプライチェーンを考え直す」

フィッシャーアーク代表・志賀町漁業協同組合組合員 駒井健也氏

事例報告2 「コープしが店舗事業における環境負荷削減と

組合員への啓発の取り組みについて」

生活協同組合コープしが 店舗事業部管掌 常務理事 安岡寿司氏

事例報告3 「学食へのヴィーガンメニュー導入とサステナビリティ」

立命館大学 学生団体LiNK 共同代表 市村リズム氏

質疑応答・ディスカッション

コーディネーター：宮永 健太郎（京都産業大学 経営学部 准教授・SGN 運営委員）



11/15 基調講演をいただいた
立命館大学食マネジメント学部長
天野 耕二 教授



11/15 質疑応答を兼ねた
ディスカッションの様子

2. 研究会活動

(1) エコ交通研究会

SGN メルマガへのコラム（エコ通勤・エコトリップのススメ）連載

vol.14（4月）～vol.25（3月） 毎月1回、全12回

第20回コアメンバー会議（オンライン併催）2022年6月8日（水）参加者：9名

日野町カーフリーデー視察

2022年9月22日（木）参加者：2名

学習会「日野町カーフリーデーに学ぶ、持続可能な地域と交通をめざす取組」

開催日：2023年3月23日（木） 参加者：22名

会場：コラボしが21 中会議室

内容：日野町カーフリーデーと実証実験の報告より、これからの通勤の在り方とエコシフトするための課題について、関連団体と共に意見交換を行った。



3/23 エコ交通研究会
学習会

(2) 生物多様性と環境・CSR研究会

企画会議（オンライン）

2022年7月20日（水）

参加者：6名

企画会議（オンライン） 2022年8月9日（水） 参加者：5名
 京産大発グリーンインフラ構想についての意見交換会（オンライン併催）
 開催日：2022年9月9日（金） 参加者：15名
 場 所：京都産業大学とオンライン（Zoom利用）の併催
 内 容：京産大が取り組むグリーンインフラ構想の説明と
 研究会や企業との連携についての意見交換

企画会議（オンライン） 2022年10月12日（水） 参加者：5名
 企画会議（オンライン） 2022年11月11日（金） 参加者：4名
 企画会議（オンライン） 2023年2月6日（月） 参加者：10名
 オンラインセミナー開催 ※後掲 2023年2月14日（火） 参加者：63名以上



2/14 生物研セミナー
開催事務局

（3）MORI と暮らしの研究会

MORI とカイシャのアンケート実施（会員向け）
 実施日：2022年5月12日（木） 回答数：27名
 企業団体の福利厚生と森林関連活動についてのヒアリング
 実施日：2022年5月17日（火）他 参加団体：5名
 ながはま森林マッチングセンターとの打合せ（森の福利厚生モニターツアー）
 開催日：2022年8月1日（月）・9月12日（月）
 森の福利厚生モニターツアー 参加者募集（メルマガにて会員に案内）
 発信日：2022年10月13日（木）
 森の福利厚生モニターツアー 実施
 2022年11月18日（金） 参加者：11名（研究会からの参加 5名）
 場 所：菅山寺の森（長浜市 菅山寺散策コース）
 内 容：『森のみなさんと一緒に保全活動、森歩き、
 マインドフルネス体験』
 森林の精神・身体面への好影響が科学的に実証されていることから、
 「森」を会社の福利厚生活動に活かし、社員の活力を高め、同時に
 自然の保全にも貢献するプログラムの開発と、福利厚生活動や社会
 貢献メニューへの組み込みの可能性について考察するためのモニ
 ターツアー。



5/12 実施 MORIとカイシャのアンケート



11/18 森の福利厚生モニターツアー

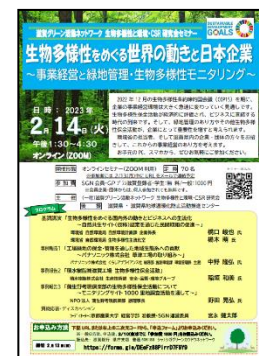
3. 研究会セミナー

（1）生物多様性と環境・CSR 研究会 企画セミナー

『生物多様性をめぐる世界の動きと日本企業 ～事業経営と緑地管理・生物多様性モニタリング～』

開催日：2023年2月14日（火） 参加者：63名以上
 開催方法：ZOOM 使用のオンライン開催
 後 援：滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター
 内 容：

- 基調講演 『生物多様性をめぐる国内外の動きとビジネスへの主流化
～自然共生サイト認定を通じた民間取組の促進～』
 環境省 自然環境局 橋口峻也氏・楊木萌氏
- 事例報告1 『工場緑地の保全・管理を通じた地域生態系への貢献
～パナソニック株式会社 草津工場の取り組み～』
 パナソニック株式会社 くらしアライアンス社 総務部
 中野隆弘氏
- 事例報告2 『積水樹脂株式会社 滋賀工場 生物多様性保全活動』
 積水樹脂株式会社 生産技術部 稲垣和美氏
- 事例報告3 『蒲生野考現倶楽部の生物多様性保全活動について
～モニタリングサイト1000 里地調査活動を通して～』
 NPO 法人 蒲生野考現倶楽部 副理事長 野田晃弘氏
- 質疑応答・ディスカッション
 コーディネーター：宮永 健太郎（京都産業大学 経営学部 准教授・SGN運営委員）



2/14 生物研セミナー チラシ



2/14 総勢9名での
ZOOM ディスカッション

Ⅲ 暮らし方普及事業 ～「未来よし」な暮らしを広める～

【中期目標:キャンペーン個人参加者、年間1万人以上を目指す】

- 会員企業の環境配慮商品について、Web ミーティング掲載をしている「いちおしグリーン商品リスト」への掲載の積極的呼びかけを行った。
- 自治体連携の啓発リレーを今年度も実施。特に啓発イベントについては数年ぶりに予定通りに開催することが出来た。
- 大学への講師派遣や GP プランへの講師派遣は、業種、企業規模、業態等に配慮してバランスの良い派遣に努めた。
- 関係団体との連携としては、認定 NP0 法人 環境市民の呼びかけにより、「中小企業者サステナビリティ自主調査票検討会議」に新たに参画させていただいた。
- 「グリーン購入+エシカルキャンペーン」では、今年度も会員企業・団体のご協力・ご協賛・ご支援をいただき、CO₂ネットゼロを意識した具体的行動を宣言項目に追加することで、消費者に出来る事を見える化した啓発活動を行った。その結果、3年間連続で中期目標を達成することが出来た。

1. 「会員発いちおしグリーン商品リスト Ver.23」発行 2022年6月 掲載商品数:191(62団体)

2. 自治体部会「買うならエコ！」リレー実施(県内自治体連携)

■パネル展示

展示期間・	実施市町	展示期間	実施市町
7/4(月)～7/7(木)	高島市	9/26(月)～9/29(木)	竜王町
7/12(火)～7/15(金)	滋賀県	10/3(月)～10/6(木)	豊郷町
7/25(月)～7/28(木)	守山市	10/24(月)～10/27(木)	多賀町
8/1(月)～8/4(木)	野洲市	11/7(月)～11/10(木)	米原市
8/22(月)～8/25(木)	栗東市	11/14(月)～11/17(木)	彦根市
8/29(月)～9/1(木)	湖南市	11/28(月)～12/1(木)	近江八幡市
9/5(月)～9/8(木)	甲賀市	12/12(月)～12/16(木)	大津市
9/12(月)～9/15(木)	日野町		

■ブース啓発

実施日	実施市町	イベント名称
9/3(土)	草津市	エコライフフェア草津2022
11/3(木・祝)	東近江市	ECOまつり
11/13(日)	野洲市	やす環境フェスタ2022
2023/3/12(日)	長浜市	環境にやさしい日フェア



パネル展示の様子(高島市)



パネル展示の様子(甲賀市)



9/3 ブース啓発内で
卓上エシカルすごろく実施
(エコライフフェア草津2022にて)

3. 啓発資材の貸出

啓発パネル等の貸出 4件



エシカルすごろく(卓上用)

4. 会員講師の派遣

■GP プラン滋賀「グリーン購入実践講座」講師

2022 年 6 月 21 日 (火)	滋賀県琵琶湖保全再生課 (マザーレイクゴールズ推進委員会事務)	
	滋賀県理事 琵琶湖政策・MLGs 推進担当	三和 伸彦氏
2022 年 7 月 22 日 (金)	金勝生産森林組合 組合長理事	澤 幸司氏
2022 年 9 月 29 日 (木)	びわ湖放送株式会社 取締役 放送管理局長	松本 圭司氏
	ダイキン工業 テクノロジー・イノベーションセンター	
	モーター技術グループ チームリーダー	山本 直樹氏
2022 年 12 月 8 日 (木)	一般社団法人フードバンクびわ湖 理事長	曾田 俊弘氏
2023 年 1 月 27 日 (金)	滋賀県 総合企画部 CO ₂ ネットゼロ推進課	平田 雅史氏
	株式会社沢田商店 代表取締役	沢田 昌宏氏

■滋賀県立大学「環境経営学」講師

2022 年 10 月 26 日 (水)	生活協同組合コープしが 事業支援部 環境政策推進チーム	
	リーダー (兼務) 総務管財フロア サブマネージャー	濱 均氏
	事業支援部 環境政策推進担当 (兼務) 総務管財フロア	三田村 弦郎氏
2022 年 11 月 16 日 (水)	株式会社沢田商店 代表取締役	沢田 昌宏氏
2022 年 12 月 14 日 (水)	大阪ガス株式会社 滋賀事業所 支配人補佐	小林 雅幸氏

■京都産業大学「ソーシャル・ガバナンス論」オンライン講師

2022 年 12 月	近江鉄道 (株) 総合企画部 総合企画課	岸田 幸大氏
	対談 岸田 幸大氏・近藤 章博氏・北原 翔氏	
2022 年 12 月	サンキューファインホース夢プロジェクト (steed プロジェクト)	
	(滋賀県聴覚障害者福祉協会 びわこみみの里内)	田中 欣也氏

5. 啓発イベント等開催・出展・参加

■地域事業等への出展・参加

開催日	事業名等	主催者
2022 年 7 月 21 日	第 12 回環境マイスター研修 講師協力	(一社) 日本自動車連盟滋賀県支部
2022 年 7 月 31 日	おおつエコフェスタ 2022 出展 ※後掲	大津市地球温暖化防止活動推進センター
2022 年 9 月 1 日 ～9 月 11 日	令和 4 年度「消費生活フェスタ 2022」パネル展示 (ビバシティ彦根)	滋賀県県民活動生活課・消費生活センター
2022 年 9 月 2 日	草津エコフォーラム 2022 出展・参加	草津市・草津商工会議所
2022 年 10 月 24 日	第 3 回びわ湖とプラスチックごみ問題について考える MLGs 協働テーブル 参加	滋賀県 琵琶湖保全再生課
2022 年 11 月 7 日 ～11 月 17 日	令和 4 年度「消費生活フェスタ 2022」パネル展示 (イオンタウン湖南)	滋賀県県民活動生活課・消費生活センター
2022 年 11 月 28 日	令和 4 年度「県下一斉清掃運動 (大津地区)」 参加	滋賀県 琵琶湖環境部 循環社会推進課
2022 年 12 月 13 日	第 1 回 CO ₂ ネットゼロムーブメント 参加	滋賀県総合企画部 CO ₂ ネットゼロ推進課
2022 年 12 月 18 日	草津市地球冷やしたい推進フェア 出展 ※後掲 (キャンペーン啓発イベント)	草津市 環境経済部 温暖化対策室
2023 年 2 月 16 日 ～3 月 7 日	草津市こども環境会議 YouTube での発信の部 出展 (「グリーン購入+エシカル de 未来よし」動画発信)	草津市 環境経済部 環境政策課
2023 年 2 月 16 日	MLGs フォーラム「プラごみ問題から琵琶湖と淀川・大阪湾のつながりを考える」 協力	びわ湖とプラスチックごみ問題について考える MLGs 協働テーブル・マザーレイクゴールズ推進委員会
2023 年 3 月 23 日	「もったいないフェス 2023 in 大津」参加協力 ※後掲	大津もったいないフェス実行委員会

・おおつエコフェスタ 2022

開催日：2022 年 7 月 31 日（日） 会 場：ピアザ淡海 3F 大会議室
参加者：全体 500 名以上／SGN ブース：約 300 名
主 催：大津市地球温暖化防止活動推進センター
内 容：「お買い物 de エコ体験」
①お買い物ゲーム ②手回し発電実験機体験



7/31 おおつエコフェスタ 2022 の風景

・もったいないフェス 2023 in 大津

開催日：2023 年 3 月 21 日（火・祝） 来場者：300 名以上
会 場：大津マチナカ商店街（丸山内商店街・菱屋町商店街・長等商店街）
主 催：大津もったいないフェス実行委員会
内 容：こども商店・おとな商店（フリーマーケット）/制服の譲渡会/
きものの交換会とワークショップ/子ども向けワークショップ/
子ども放送局/MLG s 体操/無料レンタルきもので待ちぶら/
吹奏楽団演奏/レトロ看板クイズラリー 他



3/21 もったいないフェス 2023in 大津

■地域の関係団体との連携

- ・滋賀県環境審議会 委員として参加
- ・滋賀県交通ビジョン見直しに向けた懇話会 参加
- ・滋賀県買い物ごみ・食品ロス削減推進協議会 委員として参加
- ・滋賀県契約審議会 委員として参加
- ・滋賀県 CO₂ ネットゼロ社会づくり審議会 委員として参加
- ・大津市廃棄物減量等推進審議会 委員として参加
- ・（社福）しがぎん福祉基金評議員会 評議員として参加
- ・うみごみ対策琵琶湖プロジェクト実行委員会 委員として参加
- ・第 79 回国民スポーツ大会・第 24 回全国障害者スポーツ大会 滋賀県開催準備委員会 委員として参加
- ・（一社）日本エシカル推進協議会 参加
- ・市民目線の中小企業者サステナビリティ自主調査推進プロジェクト 参加

■地域の関係団体への後援

開催日	事業名など	主催者
2022 年 6 月 1 日 ～10 月 31 日	びわ湖トンボフォトコンテスト 後援	生物多様性びわ湖ネットワーク
2022 年 10 月 1 日	水・未来ムーブメント 2022 後援	NPO 法人 H C C グループ
2022 年 11 月 20 日	第 2 回 びわ湖環境シンポジウム	一般社団法人 e-kagaku 国際科学教育協会
2023 年 2 月 1 日 ～2 月 28 日	びわ湖 R プロジェクト	しがローカル SDGs 研究会
2023 年 3 月 19 日	おおつ交通まちづくり推進会 第 5 回講演会	おおつ交通まちづくり推進会

6. 「グリーン購入＋エシカル キャンペーン」（消費者対象）

（1）キャンペーンの実施

○実施期間：2022 年 10 月 1 日から 12 月 31 日

○呼びかけ項目（宣言項目）：

<STEP 0> ①買う前に、本当に必要かどうか考えます。

- <STEP 1> ①マイバッグ・マイボトルを持って出かけます。
②包装の少ないものや、つめかえ品を選びます。
③滋賀県産（地元産）の商品を選びます。
④「フェアトレード商品」を選びます。
⑤「買い物メモ」を持っていきます。
⑥近い所は車を使わずに、自転車や徒歩で行きます。



キャンペーンのポスター(左)

- <STEP 2> ①食材を無駄なく使い切ります。
 ②生ごみでコンポスト（堆肥）を作ります。
 ③洗剤など量り売りを利用します。
 ④家の照明をLEDに変えます。
 ⑤まちの給水スポットを利用します。
 ⑥買い替え時には、省エネ家電を選びます。
 （エアコン、冷蔵庫、テレビ、暖房便座等）
 ⑦再生可能エネルギーを選んで契約します。

○キャンペーン参加宣言者数：12,444人（参加宣言書の回収数）

○当選景品の発送：1月上旬～抽選・当選連絡、2月初旬に景品発送済



キャンペーンのポスター(右)

■参加者プレゼント協賛団体：会員8名様より景品のご提供をいただいた。（五十音順）

NPO 法人愛のまちエコ倶楽部	菜ばかり 500g 引換券	5名様分
アインズ株式会社	絵本「Hello Kitty 僕と私の SDGs ～世界のみんなと 2030 年を考えよう～」	5名様分
工房シーダーノ	すとりーている・大麦ストロー（ケース入り）	6名様分
株式会社 国華荘 びわ湖花街道	温泉ペア入浴券（10組）	20名様分
グリーン近江農業協同組合	地産地消セット	10名様分
滋賀県地域女性団体連合会	びわ湖せっけん「エコクリーン」1袋 & ハンドソープ（ポンプ本体・詰替え各1）	8名様分
琵琶湖汽船株式会社	ミシガンペア乗船券（5組）	10名様分
株式会社 平和堂	1000円商品券	20名様分

ご協賛いただいた会員事業者様、ありがとうございました。

（2）キャンペーンの広報

- ①会員から従業員への呼びかけ（ポスター・チラシの掲出）：全会員に依頼
 ②市町から住民への呼びかけ（広報紙への記事掲載、ポスター・チラシの掲出）：3者（大津市、彦根市、東近江市）
 ③協力小売店にて店内放送による来店者への呼びかけ：3者（イオンリテール(株)様、生活協同組合コープしが様、(株)平和堂様）



10/31 JA「きてか〜な」での店頭啓発

（3）啓発イベントの実施

【近江八幡会場】

開催日：2022年10月31日（日） 来場者：約200名（チラシ配布者数）
 会場：JA グリーン近江ファーマーズマーケット「きてか〜な」店頭

【草津会場】

開催日：2022年12月18日（日）
 来場者：約200名（SGN ブース来場者）うちクイズ参加者子ども62名
 事業名：「草津市地球冷やしたい推進フェア」 主催：草津市
 会場：イオンモール草津 1階セントラルコート（草津市新浜町300）
 内容：「草津市地球冷やしたい推進フェア」にブース出展。



12/18 「草津市地球冷やしたい推進フェア」での店頭啓発

IV 企画広報事業 ～未来に向けて活動を深める～

【中期目標:年1回以上活動に参加する会員を、3年間で70%に引き上げる】

- 社会的状況から、昨年に続き、会員総会は書面による表決をお願いした。
- グリーン購入シンポジウムでは、「住」をテーマに取り上げ、建物・住居に関わるエネルギーの視点や廃棄物抑制のための資源循環についてグリーン購入を考えた。
- 次年度からの新ビジョン策定のため、検討にあたっての学びとして勉強会を開催し、時代を踏まえたビジョンづくりに務めた。
- 会員の取組紹介やエコトピックス等、グリーン購入情報満載のニュースレターを年2回作成し、お届けした(8月、3月)。
- Instagram等のSNSの更新頻度を上げ、SGNの活動の幅広い周知に努めた。
- 中期目標「年1回以上活動に参加する会員の割合の引き上げ」については、最終年度となる2022年度は51.7%の会員が年1回以上の活動に参加した。2020年度から2022年度までの平均は、70%以上に引き上げるという中期目標には届かなかったものの、コロナ禍にもかかわらず59.3%(2020～2022年度の参加割合:58.3%)の会員の参加が得られたのは一つの成果と考えられる。

1. 第10回定時会員総会の開催

開催日:2022年6月2日(木)
会 場:コラボしが21 3階ミーティングルーム
出席者:268団体(出席3、委任状56、議決権行使書209)
内 容:2021年度事業報告・決算報告について/理事の選任について/
2022年度事業計画・収支予算について



6/2 第10回定時会員総会

2. グリーン購入シンポジウム2022(定時会員総会と同日開催)

『エネルギーのグリーン購入を考える

～自治体・事業者・個人が今できる事～』

開催日:2022年6月2日(木) 13:30～15:55
場 所:会場(コラボしが21 3階大会議室)とオンライン(Zoom使用)の併催
参加者:84名以上
主 催:滋賀グリーン活動ネットワーク
後 援:滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター
内 容:
・基調講演『どこから取組む?どうやって広める?既存住宅の省エネ改修』
松尾 和也 氏(株式会社松尾設計室 代表取締役 APEC アーキテクト)
・事例報告1『実験集合住宅「NEXT21」から見える未来』
志波 徹 氏(大阪ガス株式会社 エナジーソリューション事業部)
・事例報告2『我慢しない家が家族と環境と健康を守る』
吉本 智 氏(ベストハウスネクスト株式会社 代表取締役)
・質疑応答・ディスカッション
コーディネーター:高橋 卓也(滋賀県立大学 環境科学部 教授・SGN 副会長)



6/2 シンポジウム 会長挨拶



6/2 基調講演講師の
松尾和也氏



6/2 ディスカッションの様子

3. 会員交流会 (定時会員総会と同日開催)

開催日:2022年6月2日(木) 16:00～16:30
場 所:会場(コラボしが21 3階大会議室)とオンライン(Zoom使用)の併催
参加者:23名(会場17名、オンライン6名)
内 容:新規会員の紹介・2グループに分かれての意見交換

4. 第11回臨時会員総会の開催

開催日:2022年11月25日(木)
場 所:大津合同庁舎(大津市)3階 会議室
出席者:230団体(出席3、委任状34、議決権行使193)
内 容:監事の選任について

5. 新ビジョン(案)の検討・策定

- ・勉強会の開催

【第1回】

開催日：2022年9月7日（水） 参加者：13名

場 所：環びわ湖大学・地域コンソーシアム 会議室
（日本生命大津ビル4階）

内 容：滋賀県立大学 環境科学部 環境政策・計画学科 村上一真
教授より行動経済学、ナッジ、社会実装について話題提供

【第2回】

開催日：2022年11月22日（火）参加者：16名（会場13名、オンライン3名）

場 所：大津合同庁舎（大津市）7階＜オンライン併催＞

内 容：京都大学 人文科学研究所 藤原辰史准教授より話題提供
『分解の哲学 ～「食」をめぐる脱領域的考察～』

- ・2023年度からの新活動ビジョンについて検討し、案を策定。

第37回理事会に上程した。（※別紙2：策定した新活動ビジョン 参照）



第1回勉強会
（講師：村上一真先生）



第2回勉強会
（講師：藤原辰史先生）

6. ニュースレターの発行 2回発行

第40号 2022年8月発行

第41号 2023年3月発行

7. ホームページ 随時更新

- ・会員ページのパスワード変更（2022年5月中旬以降）、
会員総会案内文書とともに郵送で通知
- ・オンラインセミナー後の講師配布資料を
パスワード付きで会員ページにて公開



ニュースレター 第40号、第41号

8. SNSによる情報発信

- ・Facebook、Instagram、Twitterによる情報発信

9. メルマガ・FAX リリースの発行 12回発行

vol. 297号発行（2022年4月4日）	vol. 298号発行（2022年5月2日）
vol. 299号発行（2022年6月7日）	vol. 300号発行（2022年7月5日）
vol. 301号発行（2022年8月4日）	vol. 302号発行（2022年9月1日）
vol. 303号発行（2022年10月6日）	vol. 304号発行（2022年11月7日）
vol. 305号発行（2022年12月1日）	vol. 306号発行（2023年1月10日）
vol. 307号発行（2023年2月2日）	vol. 308号発行（2023年3月2日）



SGN Instagram

10. インターネット活用による活動方法に関する検討

引き続きコロナ禍の対応として、セミナー等は会場とオンライン併催を中心として開催を試み、会場に合わせた設営の検討を重ねた。

11. 会員紹介者の表彰等

2022年度中に、以下の会員より新規会員をご紹介いただいた。

- 1者ご紹介：しがローカルSDGs研究会様
Link しが様
滋賀県会計管理局管理課エコオフィス係様

12. 会員証発行

正会員に2022年度会員証を発行・送付した。
賛助会員の新規申込者に会員証を発行・送付した。

V GPプラン滋賀登録制度推進事業【県受託】

- グリーン購入に取り組む中小企業者の登録制度「グリーン購入実践プラン滋賀登録制度(GPプラン滋賀)」を運営し、県内事業者のグリーン購入実践促進に取り組んだ。
- 今年度も新型コロナウイルス感染症対応策として、開催形態にオンラインも取り入れたオンライン併催の支援プログラムを実施した。

1. 登録受付、登録証発行、登録者管理、登録者の実践支援

登録者数（年度当初）188 事業者（STEP2：25 事業者、STEP1：163 事業者）

2. 支援プログラム

(1) 基礎研修会

※今年度より動画視聴形式とし、開催日以外でも随時受講可能とした。

【会場受講】

- 2022 年 6 月 21 日（火） 参加者：17 名
会場：ピアザ淡海（大津市）とオンライン（Zoom 利用）併催
- 2022 年 9 月 29 日（木） 参加者：1 名
会場：G-NET しが（近江八幡会場）
- 2022 年 11 月 1 日（火） 参加者：2 名
会場：G-NET しが（近江八幡市）〈オンライン参加〉
- 2023 年 1 月 27 日（金） 参加者：3 名
会場：ピアザ淡海（大津市）

【随時受講】

- 視聴日：2022 年 9 月 8 日（木）、9 月 26 日（月）、9 月 27 日（火）、
2023 年 2 月 13 日（月）
- 参加者：各 1 名
- 内 容：「滋賀県のグリーン入札」 滋賀県 会計管理局 管理課
「基礎から学ぶグリーン購入」 SGN 事務局（いずれも動画視聴）



6/21 基礎研修会 会場風景



9/29 基礎研修会 会場風景

(2) グリーン購入実践講座

冒頭で滋賀県 会計管理局 管理課が「グリーン購入・グリーン入札」について説明した。

○前期 1 <大津会場>

- 2022 年 6 月 21 日（火）
- 会場：ピアザ淡海（大津市）〈オンライン併催〉
- 参加者：61 名（会場 27 名・オンライン 34 名）
- 「マザーレイクゴールズから見る琵琶湖と暮らし」
マザーレイクゴールズ推進委員会事務局
滋賀県理事 琵琶湖政策・MLGs 推進担当 三和 伸彦氏



6/21 実践講座【前期 1】会場風景

○前期 2 <彦根会場>

- 2022 年 7 月 22 日（金）
- 会場：滋賀県消費生活センター（彦根市）〈オンライン併催〉
- 参加者：25 名（会場 9 名・オンライン 16 名）
- 「先進的かつ持続可能な森林経営
～ふるさとの山を未来につなぐ～」
金勝生産森林組合 組合長理事 澤 幸司氏
「ながはま森林マッチングセンターが考える人と森とのつなぎ方」
ながはま森林マッチングセンター 森林環境保全員 橋本 勘氏



7/22 実践講座【前期 2】
オンラインでの講演

○前期3 <近江八幡会場>

2022年9月29日（木）

会場：G-NET しが（近江八幡市）〈オンライン併催〉

参加者：31名（会場12名・オンライン19名）

「環境保全イベント参加児童のアイディアは問題解決の近道！」

びわ湖放送株式会社 営業局長 松本 圭司氏

「ダイキン工業のカーボンニュートラルの取組

～菅水路用マイクロ水力発電の事例紹介～」

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター 山本 直樹氏



9/29 実践講座【前期3】
オンラインでの講演

○後期1 <彦根会場>

2022年11月1日（火）

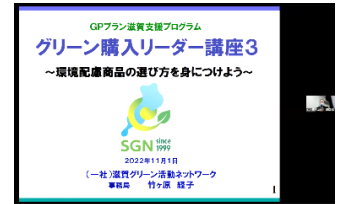
会場：滋賀県消費生活センター（彦根会場）〈オンライン併催〉

参加者：12名（会場4名・オンライン8名）

「グリーン購入リーダー講座3

～環境配慮型商品の選び方を身につけよう～」

SGN 事務局 竹ヶ原 経子



11/1 実践講座【後期1】

○後期2 <近江八幡会場>

2022年12月8日（木）

会場：G-NET しが（近江八幡会場）〈オンライン併催〉

参加者：25名（会場15名・オンライン10名）

「もったいないを笑顔と絆に

～フードバンクびわ湖の食品ロス削減への取組～」

一般社団法人フードバンクびわ湖 理事長 曾田 俊弘氏

「誰もが安心して食べられるクッキーを通しての地域社会との繋がりについて」

社会福祉法人 共生シンフォニー まちかどプロジェクト人権講師 中川 佑希氏



12/8 実践講座【後期2】会場風景

○後期3 <大津会場>

2023年1月27日（金）

会場：ピアザ淡海（大津市）〈オンライン併催〉

参加者：64名（会場26名・オンライン38名）

「滋賀県における「CO₂ ネットゼロ社会づくり」に向けて」

滋賀県 総合企画部 CO₂ ネットゼロ推進課

「小さな企業だからこそ取り組める SDGs とカーボンフリー社会づくり」

眠りのプロショップ Sawada 株式会社沢田商店 代表取締役 沢田 昌宏氏



1/27 実践講座【後期3】会場風景

3. ヒアリング

- ・STEP2 登録事業者 25 者を対象に個別ヒアリング（対面及びオンライン）を、STEP1 登録事業者 1 者を対象に訪問ヒアリングを実施した。

4. ナイスハート物品購入制度の普及啓発

滋賀県「ナイスハート物品購入制度」の普及に向けて、アンケート実施、企業訪問でのヒアリングや検討会を実施した。

5. 継続申請の受付

2023年1月11日（水）から2月28日（火）

VI 令和4年度資源化情報システム運営管理業務【県受託】

公募型プロポーザルに参加し、業務を受託。2022年7月より業務開始。

1. 滋賀県 HP 内サイト「ごみゼロしが」掲載データの更新情報・新規追加情報の提供

- ・トピックス一覧
- ・フリーマーケットへ行こう（住民向け情報）
- ・フォードドライブに参加しよう（住民向け情報）
- ・修理屋さんで直してもらおう（住民向け情報）
- ・事業者支援情報（事業者向け情報）
- ・提供・引受情報（事業者向け情報）
- ・ごみ減量・資源化の取組（事業者向け情報）
- ・リンク集 ※県 HP の更新作業は、県が実施



滋賀県 HP 内サイト
「ごみゼロしが」トップページ

2. メールマガジン作成に資する情報収集・整理（メルマガ案の提出）

- ・メールマガジン 2022 年 7 月号～2023 年 4 月号の 10 回についての情報提出（メールマガジンの発行は、県が行う）

3. 事業者等による先進取組事例の収集とデータ作成

- ・プラスチックごみ削減事例、食品ロス削減事例、3R 取組事例の収集と提案
- ・取材決定した事業者等からの聞き取りとデータ作成（記事作成）

4. 広報の実施

- ・「令和4年度プラスチックごみゼロ・食品ロス削減・3R 取組事例集」冊子の作成
- ・SGN ホームページ上に「ごみゼロしが」の バナーを追加
- ・SGN メールマガジンに、『今月の「ごみゼロしが」情報』をコーナーを追加
- ・SGN ニュースレター第 40 号、第 41 号にて「ごみゼロしが」サイトの広報を実施



取組事例集冊子

VII 理事会・幹事会等の開催

1. 理事会の開催

■第 35 回理事会（オンライン）	（2022 年 5 月 9 日）	出席者	理事 6 名	監事 2 名	陪席者 8 名
■第 36 回理事会（オンライン）	（2022 年 10 月 19 日）	出席者	理事 8 名	監事 0 名	陪席者 7 名
■第 37 回理事会（オンライン）	（2023 年 2 月 20 日）	出席者	理事 7 名	監事 1 名	陪席者 5 名

2. 幹事会の開催

■第 87 回（2022 年度第 1 回）幹事会（オンライン）	（2022 年 4 月 22 日）	出席者 26 名
■第 88 回（2022 年度第 2 回）幹事会（オンライン）	（2022 年 9 月 14 日）	出席者 24 名
■第 89 回（2022 年度第 3 回）幹事会（オンライン）	（2023 年 2 月 9 日）	出席者 22 名

3. 部会の開催

■2022 年度第 1 回 実践促進部会（オンライン）	（2022 年 6 月 14 日）	出席者 8 名
■2022 年度第 1 回 連携推進部会（オンライン）	（2022 年 6 月 14 日）	出席者 10 名
■2022 年度第 2 回 連携推進部会（オンライン）	（2022 年 7 月 25 日）	出席者 11 名
■2022 年度第 3 回 連携推進部会（オンライン）	（2022 年 8 月 24 日）	出席者 10 名
■2022 年度第 1 回 暮らし方普及部会（オンライン）	（2022 年 6 月 13 日）	出席者 10 名
■2022 年度第 1 回 企画広報部会（オンライン）	（2022 年 6 月 28 日）	出席者 8 名
■企画広報部会 第 1 回勉強会	（2022 年 9 月 7 日）	出席者 13 名
■企画広報部会 第 2 回勉強会（オンライン併催）	（2022 年 11 月 22 日）	出席者 16 名
■2022 年度第 1 回 自治体部会コアメンバー会議（オンライン）	（2022 年 5 月 31 日）	出席者 9 名

Ⅷ その他

1. 協賛バナー広告協力団体

滋賀ダイハツ販売株式会社 様（1年間）
株式会社 平和堂 様（1年間）



協賛バナー広告



SGN トップページ

2. 寄付をいただいた団体

2022年5月20日	イオンペット株式会社 様（有料レジ袋収益金）	10,198 円
2022年6月28日	イオンベーカリー株式会社 様（有料レジ袋収益金）	19,190 円
2022年6月30日	株式会社 未来屋書店 様（有料レジ袋収益金）	8,000 円
2022年9月20日	イオンリテール株式会社 様（有料レジ袋収益金）	48,768 円
2022年11月30日	株式会社メガスポート 様（有料レジ袋収益金）	4,323 円

3. チラシ同封サービスの利用

谷口印刷株式会社 様 2022年8月

4. 有料メルマガの利用

公益財団法人 淡海環境保全財団 様
2022年11月21日、12月12日（2回）
株式会社セブンワンツリーズ 様
2022年7月11日、8月1日（2回）



チラシ同封サービス広告

【参考資料】2022年度 事業報告書

ミッションの位置づけ

A. 事業者の環境行動の水準を高める	D. 未来に向けて活動を深める
B. 会員の想いと活動をつなげる	
C. 「未来よし」な暮らしを広める	

ビジョン	滋賀から「グリーン経済」をつくる ～ 子や孫の世代まで幸せや豊かさを実感できる「未来よし」な社会をつくる ～			
ミッション	A. 事業者の環境行動の水準を高める	B. 会員の想いと活動をつなげる	C. 「未来よし」な暮らしを広める	D. 未来に向けて活動を深める
事業名	実践促進事業	連携推進事業	暮らし方普及事業	企画広報事業
2022年度事業	1.グリーン購入＋エシカル キャンペーン（事業者 126団体） 2.自治体のグリーン購入 担当者連絡会議（21名） 3.自治体取組アンケート（18自治体） 4.GPブラン滋賀事業【県委託】 ①基礎研修会4回、随時受講1回（延べ 24名） ②実践講座6回（延べ 218名） ③個別にアライン対応（25者） 5.資源化情報システム運営管理業務【県受託】 ①「ごみゼロしが」掲載情報の確認・追加 ②先取組事例紹介データの作成 ③メールマガジンの作成、広報の実施 等	1.グリーン経済フォーラム（50名） 2.食のグリーン購入研究会 3.ゼロエミッション研究会 4.エコ交通研究会（会議9名） メルマガ発行 12回 日野町カーフリーデー視察（2名） エコ交通学習会（22名） 5.生物多様性と環境・CSR研究会（会議30名） 京産大西田ゼミとの意見交換会（15名） 生物多様性セミナー（63名以上） 6.MORIと暮らしの研究会 アンケート調査 回答（27者） 森の福利厚生ヒアリング調査（5者） モニターツアー（5名）	1.いちおしグリーン商品リスト（約200点） 2.自治体部会「買うならエコ！」リレー（18自治体） 3.啓発資料の作成・貸出（4件） 4.講師派遣事業（大学 5者、GPP 7者） 5.地域事業への出展・参加（12回） 6.地域の関係団体との連携（12団体） 7.地域の関係団体への後援（5団体） 8.グリーン購入＋エシカル キャンペーン（個人 12,444名）	1.会員総会 2.グリーン購入シンポジウム（84名以上） 2.会員交流会（23名） 3.新ビジョン策定（勉強会 2回 29名） 4.ニュースレター 発行（2回） 5.ホームページ随時更新 6.メルマガ・FAXリリース 発行（12回） 7.インターネット活用による活動方法に関する検討 8.会員紹介者の表彰等（3者）
中期目標 2020～ 2022年度	キャンペーン参加団体数 年間200団体を目指す	研究会事業への参加者 3年間で延べ500人以上とする	キャンペーン個人参加者 年間1万人以上を目指す	年1回以上活動に参加する会員を 3年間で70%に引き上げる
2022年度実績	グリーン購入＋エシカルキャンペーン事業者参加 126団体	研究会事業への参加者 228人	グリーン購入＋エシカルキャンペーン個人参加者 12,444人	年1回以上活動に参加する会員 51.7% (2020～2022年度) 59.3%
2021年度実績 (参考)	グリーン購入＋エシカルキャンペーン参加 148団体	研究会事業への参加者 2020年度 380人以上 2021年度 318人以上	グリーン購入＋エシカルキャンペーン個人参加者 15,971人	年1回以上活動に参加した会員 (2020～2021年度) 58.3%
事業報告	○CO2ネットゼロ社会に向けたグリーン購入の側面からの取組を推進するため、エコ通勤の取組、職場内電灯のLEDへの変更や、「うちエコ診断」の勧めなど、具体的行動を選択項目に含めたキャンペーンを展開した。 ○自治体間での連絡会議開催や、グリーン購入に関するアンケート調査を通じ、情報や課題を共有することで自治体とSGNの連携を図った。 ○グリーン購入に取り組む中小企業者の登録制度「GPブラン滋賀」では、県が進める「CO2ネットゼロ」に即した内容の講座を開催し、事業者への周知に努めた。また、環境面に福祉面を加えた事業者のCSR行動を支援することに努めた。 ○公募型プロポーザル事業「資源化情報システム運用管理業務」を単年度契約で受託し、滋賀県HP内サイト「ごみゼロしが」への情報提供業務を行った。	○研究会連携により開催したグリーン経済フォーラムでは「食」をテーマに取り上げ、「食」のサプライチェーンに関わる生産者・販売者・消費者とともに、グリーン購入やCO2排出削減について今出来る事を考えた。 ○会員が主体的に取り組む研究会活動が、今年度も活発に行われた。 ■エコ交通研究会 ①研究会メルマガの定期的発行 ②日野町カーフリーデー参加 ③カーフリーデー実証実験に学ぶ学習会開催。 ■生物多様性と環境・CSR研究会 ①オンラインセミナーの開催（環境省を招いて生物多様性テーマのセミナー） ■MORIと暮らしの研究会 ①会員対象のアンケート調査 ②森の福利厚生モニターツアーを実施	○会員企業の環境配慮商品について、Web掲載をしている「いちおしグリーン商品リスト」への掲載の積極的呼びかけを行った。 ○自治体連携の啓発リレーを今年度も実施。特に啓発イベントについては数年ぶりに予定通りに開催することが出来た。 ○大学への講師派遣やGPブランへの講師派遣は、業種、企業規模、業態等に配慮してバランスの良い派遣に努めた。 ○関係団体との連携としては、認定NPO法人 環境市民の呼びかけにより、「中小企業者サステナビリティ自主調査票検討会議」に新たに参画させていただいた。 ○「グリーン購入＋エシカルキャンペーン」では、今年度も会員企業・団体のご協力・ご協賛・ご支援をいただき、CO2ネットゼロを意識した具体的行動を宣言項目に追加することで、消費者に出来る事を見える化した啓発活動を行った。	○社会的状況から、昨年に続き、会員総会は書面による表決をお願いした。 ○グリーン購入シンポジウムでは、「住」をテーマに取り上げ、建物・住居に関わるエネルギーの視点や廃棄物抑制のための資源循環についてグリーン購入を考えた。 ○次年度からの新ビジョン策定のため、検討にあたっての学びとして勉強会を開催し、時代を踏まえたビジョンづくりに務めた。 ○会員の取組紹介やエコピックス等、グリーン購入情報満載のニュースレターを年2回作成し、お届けした(8月、3月)。 ○Instagram等のSNSの更新頻度を上げ、SGNの活動の幅広い周知に努めた。
担当部会	実践促進部会	連携推進部会	暮らし方普及部会	企画広報部会

一般社団法人滋賀グリーン活動ネットワーク

2022年度（第10期）決算報告書

・貸 借 対 照 表
・正 味 財 産 増 減 計 算 書
・財 産 目 録

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

貸借対照表

2023年（令和5年）3月31日 現在

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,390,876	1,780,395	△ 389,519
未収金	1,596,500	0	1,596,500
流動資産合計	2,987,376	1,780,395	1,206,981
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	2,987,376	1,780,395	1,206,981
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	534,387	694,901	△ 160,514
未払消費税等	322,000	242,800	79,200
預り金	29,442	22,970	6,472
流動負債合計	885,829	960,671	△ 74,842
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	885,829	960,671	△ 74,842
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	2,101,547	819,724	1,281,823
正味財産合計	2,101,547	819,724	1,281,823
負債及び正味財産合計	2,987,376	1,780,395	1,206,981

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

正味財産増減計算書

2022年（令和4年）4月1日 から2023年（令和5年）3月31日 まで

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	5,208,000	5,414,000	△ 206,000
個人賛助会員受取会費	78,000	75,000	3,000
受取会費計	5,286,000	5,489,000	△ 203,000
事業収益			
事業収益	581,300	474,300	107,000
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	1,800,000	1,800,000	0
受取受託金	6,505,000	4,870,000	1,635,000
受取補助金等計	8,305,000	6,670,000	1,635,000
受取寄付金			
受取寄付金	111,659	706,085	△ 594,426
雑収益			
受取利息	24	33	△ 9
経常収益計	14,283,983	13,339,418	944,565
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	7,062,297	6,777,918	284,379
法定福利費	592,026	679,769	△ 87,743
旅費交通費	127,276	44,532	82,744
通信運搬費	527,815	511,744	16,071
消耗品費	120,933	97,720	23,213
印刷製本費	450,450	446,270	4,180
賃借料	193,427	235,764	△ 42,337
諸謝金	148,000	167,000	△ 19,000
租税公課	2,400	2,000	400
委託費	99,200	158,400	△ 59,200
雑費	10,285	53,585	△ 43,300
事業費計	9,334,109	9,174,702	159,407
管理費			
給料手当	1,255,925	1,614,490	△ 358,565
退職金共済掛金	96,000	96,000	0
福利厚生費	51,273	27,524	23,749
法定福利費	246,234	351,137	△ 104,903
旅費交通費	271,708	290,882	△ 19,174
通信運搬費	220,175	207,482	12,693
消耗品費	229,635	229,103	532
賃借料	854,026	970,340	△ 116,314
租税公課	355,200	252,800	102,400
年会費	10,000	10,000	0
雑費	5,675	7,350	△ 1,675
管理費計	3,595,851	4,057,108	△ 461,257
経常費用計	12,929,960	13,231,810	△ 301,850
評価損益等調整前当期経常増減額	1,354,023	107,608	1,246,415
当期経常増減額	1,354,023	107,608	1,246,415
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,354,023	107,608	1,246,415
法人税、住民税及び事業税	72,200	72,204	△ 4
当期一般正味財産増減額	1,281,823	35,404	1,246,419
一般正味財産期首残高	819,724	784,320	35,404
一般正味財産期末残高	2,101,547	819,724	1,281,823
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	2,101,547	819,724	1,281,823

一般社団法人 滋賀グリーン活動ネットワーク

財 産 目 録

2023年（令和5年）3月31日 現在

（単位：円）

貸 借 対 照 表 科 目		場 所 ・ 物 量 等	使用目的等	金 額
（流動資産）				
	普通預金	滋賀/県庁 (NO. 506188)		1,390,876
	未収金			1,596,500
流動資産合計				2,987,376
固定資産合計				0
資産合計				2,987,376
（流動負債）				
	未払費用			534,387
	未払消費税等			322,000
	預り金	源泉所得税		29,442
流動負債合計				885,829
固定負債合計				0
負債合計				885,829
正味財産				2,101,547

2022年度 決算報告

収入の部

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	決算見込額の内訳
受取会費	5,455,000	5,286,000	正会員会費(439団体分) 5,208,000 賛助会員会費(25名分) 78,000
受取補助金	1,800,000	1,800,000	県 SGN補助金 1,800,000
事業収益	538,800	581,300	講師派遣料等 160,000 協賛バナー広告料 264,000 チラシ同封サービス・NL購読料他 148,300 セミナー等参加料 9,000
受託金	4,970,000	6,505,000	グリーン購入実践プラン滋賀 4,970,000 資源化情報システム運用業務 1,535,000
受取寄付金	90,000	111,659	イオンリテール(株)様、イオンペーカリー(株)様、 (株)未来屋書店様、イオンペット(株)様、 (株)メガスポーツ様 90,479 その他 21,180
雑収益	6,476	24	
前年度繰越金	819,724	819,724	
収入合計	13,680,000	15,103,707	

支出の部

(単位:円)

科 目	当初予算額	決算額	決算見込額の内訳
事業費	9,335,000	9,334,109	実践促進事業 511,614 連携推進事業 602,672 暮らし方普及事業 507,801 情報提供・企画事業 1,502,522 グリーン購入実践プラン滋賀 4,744,200 資源化情報システム運用業務 1,465,300
管理費	3,722,000	3,273,851	給料手当・法定福利費等 1,887,932 事務所費等 854,026 旅費・通信運搬費・消耗品費等 531,893
租税公課	323,000	394,200	
予備費	300,000	0	
支出合計	13,680,000	13,002,160	

収支差額		2,101,547	※うち200,000円は㈱ダイフク様より研究会への寄付分
------	--	-----------	------------------------------